



大阪ガス

ガス瞬間湯沸器

取扱説明書

保証書付 33-672型

型式PH-161M

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

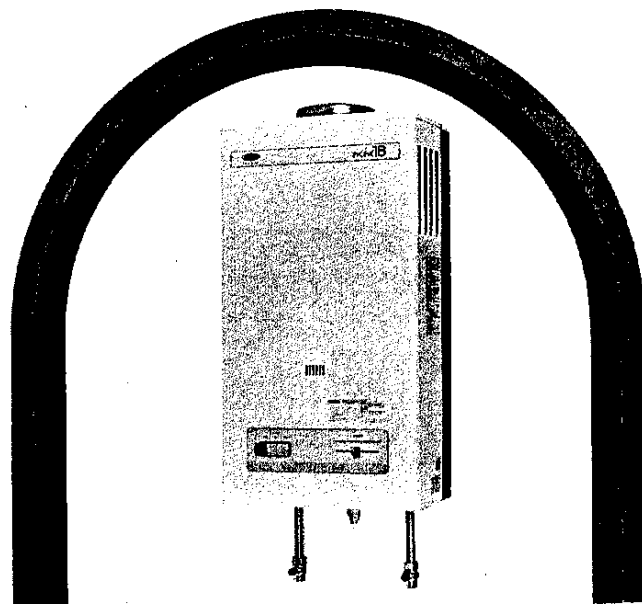
| | | | |
|----------------|------|--------------------|------------------|
| 本社ガスビルサービスセンター | ☎541 | 大阪市中央区平野町4丁目1番2号 | ☎大阪06(202)2221 |
| 南支社 | ☎567 | 大阪市西成区玉出東2丁目9番4号 | ☎大阪06(852)0001 |
| 北支社 | ☎532 | 大阪市淀川区十三本町3丁目3番35号 | ☎大阪06(301)1251 |
| 堺支社 | ☎590 | 堺市生玉町2丁目2番19号 | ☎堺0722(38)1131 |
| 北摂支社 | ☎569 | 高槻市藤の里田39番6号 | ☎高槻0726(71)0381 |
| 北神支社 | ☎682 | 西宮市和上町4番11号 | ☎西宮0798(25)3101 |
| 東淀支社 | ☎578 | 東大阪市稲美2丁目3番17号 | ☎河内0729(62)1131 |
| 京阪支社 | ☎573 | 枚方市西田宮町1番17号 | ☎枚方0720(41)1251 |
| 神戸支社 | ☎650 | 神戸市中央区相生町5丁目13番10号 | ☎神戸078(576)5231 |
| 京都支社 | ☎604 | 京都市中京区福丸通御池角 | ☎京都075(231)8151 |
| 奈良支社 | ☎631 | 奈良市学園北2丁目4番1号 | ☎奈良0742(44)1111 |
| 和歌山支社 | ☎640 | 和歌山市本町1丁目5番 | ☎和歌山0734(31)2481 |
| 姫路支社 | ☎670 | 姫路市神屋町4丁目8 | ☎姫路0792(85)2221 |
| 豊播支社 | ☎675 | 加古川市加古川既業津29-1 | ☎加古川0794(21)1801 |
| 豊岡支社 | ☎698 | 豊岡市三坂町6丁目57番地 | ☎豊岡07982(3)2221 |
| 湖南支社 | ☎525 | 堺市湊分町字飛船580-1 | ☎堺0775(52)5811 |
| 彦根支社 | ☎522 | 彦根市大東町12番11号 | ☎彦根0749(22)3131 |
| 長浜営業所 | ☎526 | 長浜市南員取町3番4号 | ☎長浜0749(62)7171 |

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

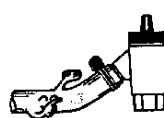
大阪ガス株式会社

おねがい

ガスくさいときは、お部屋の元栓を閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)、大阪ガス支社・サービスショップにご連絡ください。



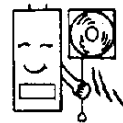
ガス器具をお使いになるときのご注意



ガスゴム管もときどき点検。よいゴム管をカッチリと



使用中は熱くなり、手をふれないでください。



ガス湯沸器。つけたその手でハイ/換気



ガス器具は、ガスの種類にあった正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス湯沸器をお求め
いただきありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を
大切に保存してください。

もくじ

| | |
|-------------------|----|
| ● 特長 | 2 |
| ● 必ずお守りください | 3 |
| ● 器具の設置 | 8 |
| ● 各部の名称 | 9 |
| ● 使用手順 | 10 |
| ● 凍結予防方法 | 14 |
| ● 日常の点検・手入れ | 15 |
| ● 故障・異常の見分け方と処置方法 | 16 |
| ● 使用時のご注意 | 18 |
| ● 寸法図と仕様一覧表 | 19 |
| ● 長期間使用しない場合 | 20 |
| ● アフターサービスのお申し込み | 21 |
| ● 本製品と快適なくらしのために | 22 |

特 長

- 1 本体寸法をコンパクトにしました。
- 2 出湯温度は湯温調節つまみで無段階(上昇温度約10~60℃)に調節できます。
- 3 出湯量に応じてガス量を自動制御(16号から4号まで)し、安定した温度のお湯が連続して得られます。
- 4 点火・消火操作は簡単なワンタッチの押しボタン式です。
- 5 熱電対式立消え安全装置付ですから、万一の消火にも生ガスの出る心配はありません。安心してご使用いただけます。

必ずお守りください

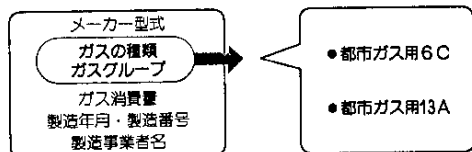
安全に正しくお使いいただくために、この頁は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。

ガス器具本体の右側面にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致していない場合は使用しないでください。

(銘板)



- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

用途についてのご注意

- 給湯、シャワー以外の用途には使用しないでください。

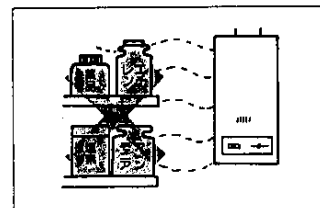
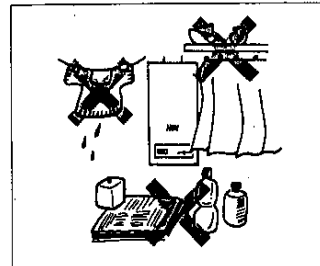
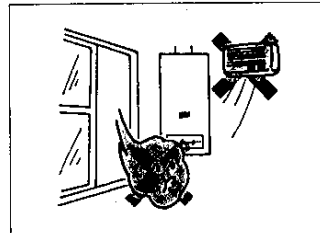
市販の補助用具についてのご注意

- 付属品、あるいはこの器具用の補助具以外は、使用しないでください。

必ずお守りください ②

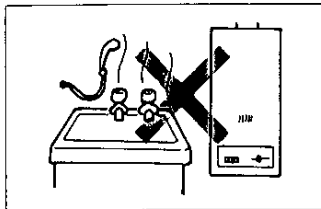
使用場所についてのご注意

- 強い風の吹き込む所では使用しないでください。
炎が風で吹き消えることがあります。
- たなの下など落下物の危険のあるところや、家具、壁、カーテンなど燃えやすいもの、引火性のものからは、じゅうぶん離してください。火災の原因になります。
- 冷蔵庫装置やテーブルコンロ等のガス器具の近くでは使用しないでください。他のガス器具の排気により、不完全燃焼をおこすおそれがあります。
- 湯沸器を使用する部屋では特殊薬品(パーマ液・アンモニア・イオウ・エチレン化合物・酸類など)を使用しないでください。
気化した薬品が、空気と一緒よに湯沸器の燃焼室に吸入されて分解し、器具を急速に腐食させ、不完全燃焼の原因となります。
- ホコリの多い場所への取付けは避けてください。
フィルタ(パイロットバーナ)や給気口をふさぐおそれがあります。



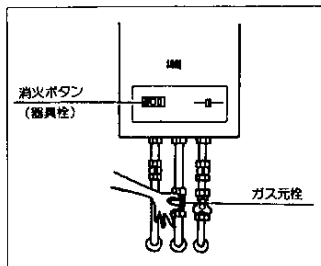
必ずお守りください ③

- 浴室には絶対取り付けないでください。
換気が悪く、湿気が多いため、不完全燃焼を起こし危険ですし、器具の寿命を短めます。
- 屋外には取り付けないでください。
寒気で凍結して器具が損傷したり、炎が風で消えたりすることがあります。



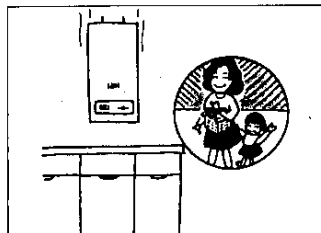
ガス漏れ予防

- 使用時の点火・消火のほか、使用中には時どき正常に燃焼していることを確かめてください。
- 使用後は必ず消火ボタン(器具栓)を押して、消火したことを確かめてください。
- 器具をご使用にならないときや、外出前またおやすみ前には、万一の事故がないように、必ずガス元栓をしめてください。



火災予防

- 器具の上やそばに燃えやすいもの(紙・カーテン・家具・揮発油など)を絶対に近づけないようにしてください。
- 火をつけたまま就寝・外出は絶対にしないでください。



必ずお守りください ④

やけどのご注意

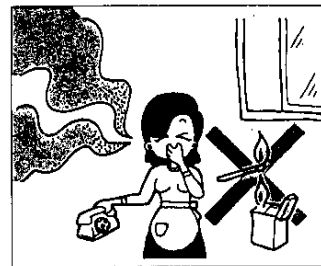
- 使用後すぐに、再度お使いになるとき、一瞬熱い湯がでることがありますので、ご注意ください。
- 使用中、および使用直後は、器具本体と排気筒部の周辺が熱くなりますので、手を触れたりしないでください。特に小さなお子様がいるご家庭では、ご注意ください。

ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元栓を閉め、窓や戸を開けて、ガスを外へ出してから、大阪ガス支社、サービスシヨップにご連絡ください。

〈ご注意〉

万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇その他電気器具にふれたり(スイッチの「入」・「切」や電源プラグの抜き差し等)しないでください。火や火花で引火し、爆発事故をおこすことがあります。



換気のご注意

- 湯沸器を使用中は換気扇を回すなど換気してください。同時に外気に通じた開放できる窓を開けて新しい空気を入れてください。

必ずお守りください ㊦

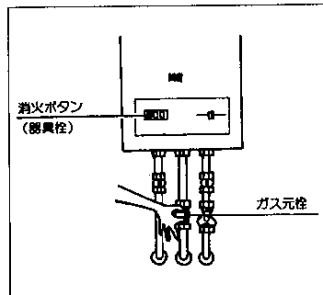
凍結についてのご注意

- 厳寒期には、湯沸器内の水が凍結し、破裂事故が起こることがありますので、凍結のおそれのあるときは、14ページの「凍結予防方法」の項にしたがって処置をしてください。
- 凍結したときは
 - ① 器具や配管が破損し、高額な修理費用がかかる場合があります。
 - ② 凍結したまま使われますと、器具に異常が生じる場合があります。凍結が溶けた後、水もれがないことをご確認のうえ、ご使用ください。

異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならないで直ちにご使用を中止(器具栓・ガス元栓閉止)し十分な点検をお願いします。

(故障・異常の見分け方と処置方法については16ページをお読みください。)



日常の点検・手入れ

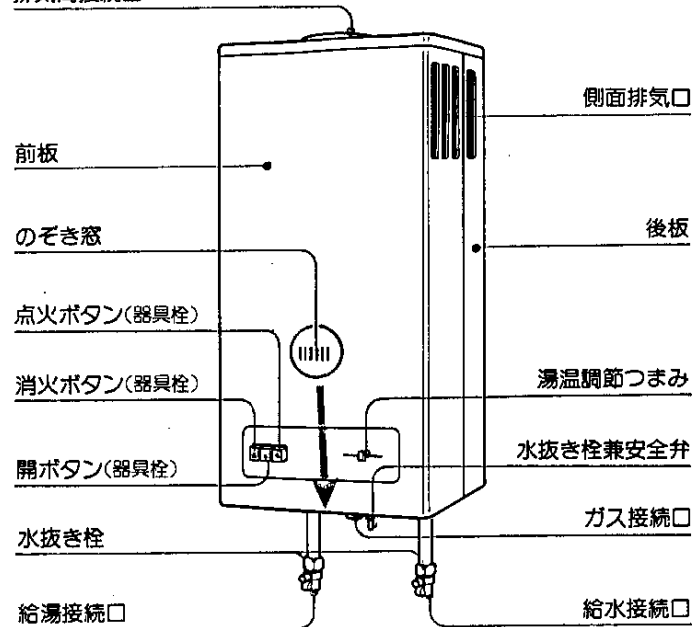
- 器具を安全・快適にお使いいただくために、日常の点検・手入れは必ず行ってください。(点検・手入れの方法については15ページをお読みください。)

器具の設置

- 器具の設置はお買い求めの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置してください。

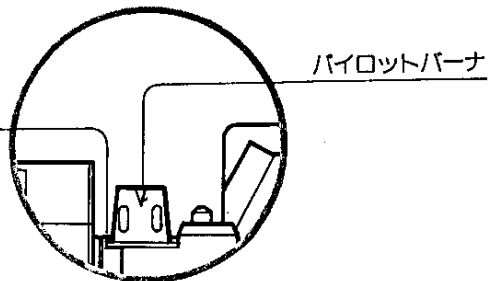
各部の名称

排気筒接続口



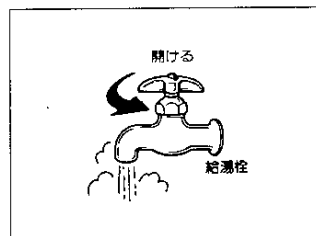
〈のぞき窓内〉

メインバーナ



使用手順

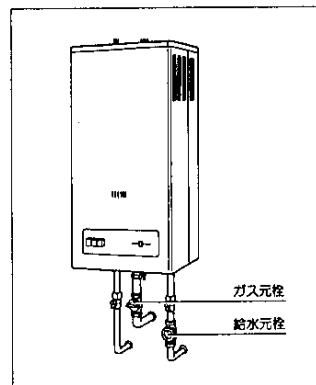
点火前の準備と確認



1) 通水

給水元栓、給湯栓を全開にして給湯栓より水が出ることを確認してください。

確認後、給湯栓を閉めてください。水を流しながらの点火操作は危険ですからやめてください。

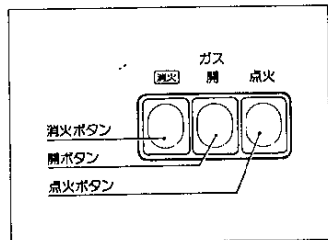


2) 消火ボタンを押したのちガス元栓を全開にしてください。

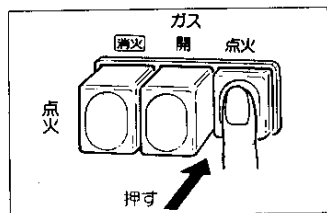
●工事が終わってパイロットバーナに初めて点火されるときは、ガス配管中に空気がたまっていますので、点火ボタンを点火するまで何回も押して、点火操作をくり返してください。

使用手順②

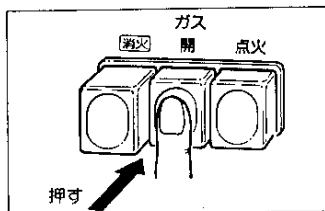
点火



- 1) パイロットバーナへの点火
①ガスの元栓を全開にしてください。
②点火ボタンを「カチン」と音がするまでゆっくり押してください。
③ボタンを押したまま、パイロットバーナに点火したことをのぞき窓から見て、確かめてください。
(火がついていない時は②をくり返してください。)
④そのまま点火ボタンを約2秒間(安全装置が動くのに必要な時間)押し続けてください。



- 2) パイロットバーナへの点火の確認
手を離してもパイロットバーナに点火していることを、のぞき窓より確認してください。



- 3) 開ボタンを押してください。
開ボタンが押されていないと、給湯栓を開けてもメインバーナに着火しません。

〈ご注意〉
点火ボタンと開ボタンを同時に押さないでください。

使用手順③

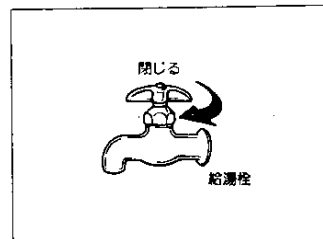
給湯



- 1) お湯を出すには
●給湯栓を開ければ、自動的にパイロットバーナからメインバーナに着火し、お湯が出ます。

〈ご注意〉

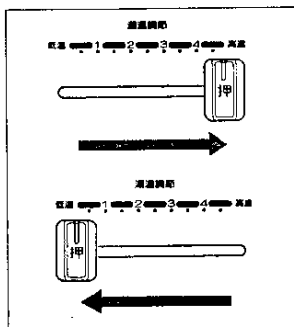
- ・給湯栓を十分に開けないと着火しなかったり、途中で火が消えることがあります。
- ・使いはじめは給湯配管内の冷水を追い出すまでしばらくお湯は出ません。
- ・給湯栓を全開にして使用しますと「高温」のお湯が出ない場合があります。この場合、給湯栓を少し絞れば「高温」のお湯が得られます。
- ・給湯栓を絞りすぎますと、火が消える場合がありますので注意してください。



- 2) お湯を止めるには
●給湯栓を閉じれば、自動的にメインバーナの火が消え、パイロットバーナのみ残ります。
以後はパイロットバーナさえつけておけばどの給湯栓を開けても湯沸器のメインバーナに着火し、お湯を出すことができます。

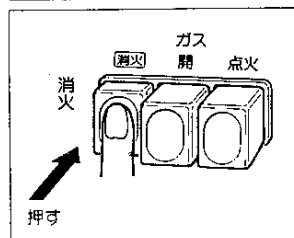
使用手順④

湯温(湯量)調節



- 1) 高温にしたいとき
●湯温調節つまみを押しながら右の方向へ動かしてください。
(湯量が少なくなる。)
- 2) 低温にしたいとき
●湯温調節つまみを押しながら左の方向へ動かしてください。
(湯量が多くなる。)

消火



- ご使用後は消火ボタンを押してパイロットバーナの消火を確認してください。
(ご注意)
消火ボタンを押すと開ボタンから点火ボタンの順に戻りますが、途中で止めると点火ボタンが戻らず、パイロットバーナが消火しない場合があります。必ずいっぱいまで押してパイロットバーナの消火を確認してください。
- おやすみ、外出の時、また長時間使用しない時には、ガス元栓を閉じておいてください。

断水の場合

- 給湯栓を閉じ、消火ボタンを押して消火しておいてください。

凍結予防方法

- 冬期には湯沸器内の水が凍結し、器具を破損することがあります。湯沸器が凍結して破損すると、内筒の取り替えなど修理代金が必要となりますので、下記事項に注意して凍結による破損を防いでください。

1) 給湯栓から水を流す方法

- この方法では、器具本体だけでなく給水管、バルブ類の凍結も同時に防止できます。
- 必ずガス元栓を閉じ、再度ご使用になるまでガスは止めたままにしてください。
- 給湯栓より少量の水(1分間に約200cc以上、ただし寒い日は多めに)を流し放しにしておいてください。流量が不安定な事がありますので、念のため30分ぐらい後に、もう一度流量をご確認ください。
(水を浴槽に流し込まれますと、一晩で浴槽半分から一ぱい程度になります。翌日雑用水としてご利用ください。ただし上記の処置をしても凍結する恐れのある場合には、水抜きを行ってください。)

2) 器具の中の水を抜く方法(入居前や長期不在の場合、気温が-5℃以下になるような場合)

- 必ずガス元栓を閉じ、再度ご使用になるまでガスは止めたままにしてください。

次の手順で器具内の水を抜いてください。

(1)給水元栓①を閉じてください。

(寒冷地域などで不凍栓使用時は、不凍栓を閉じ、給水元栓①を全開にする。)

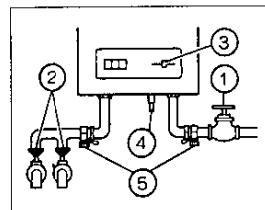
(2)すべての給湯栓②を全開にしてください。

(3)湯温調節つまみ③を「低温」にしてください。

(4)水抜き栓兼安全弁④と水抜き栓⑤を2個はずし、水を抜いてください。

器具内の水が抜けたことを確認し、再度ご使用になるまではずしておいてください。

- 再度お使いになる前に水抜き栓兼安全弁④と水抜き栓⑤を2個はめ、必ず給湯栓から水が出ることを確かめてから、ご使用ください。



日常の点検・手入れ

点検・手入れについて

点検・手入れの際のご注意

- お手入れの前にはガス元栓を閉め、器具が冷えてからお手入れをしてください。
- 点検・手入れについては、下記の日常の点検以外は大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社に依頼してください。
- フロントカバーなどは、はずさないでください。

点検

- 器具のまわりに燃えやすいものはありませんか。
- ガス漏れ、水漏れはありませんか。
- パイロットバーナの炎が小さくなっていませんか。
- 使用中の炎は正常ですか。
- 排気筒がはずれていたり、こわれていませんか。また、積雪や鳥の巣などによってふさがれていませんか。

定期点検について

- 機器はご使用に支障がなくても、2～3年に一回ぐらい、バーナや各部の作動が正常かどうか点検するのが安全に長期間ご使用いただくための“ひけつ”です。お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社、サービスショップにご相談ください。

お手入れ

- 湯沸器をいつも清潔に使っていただくために、ときどき外装（前板・後板）などを湿った布（特に汚れのひどいときには中性洗剤をお使いください）で汚れを落した後、乾いた布で十分水気をふきとってください。

〈ご注意〉

- プラスチック・印刷面・塗装面のお手入れには、強力洗剤・シンナー・ベンジンなどを使用しないでください。
- 金属たわし、みがき砂などは使用しないでください。表面に傷がついたり、印刷がはげたりする原因になります。

故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

| 現象 原因 | パイロット | | メインバーナ | | 異常な音をたてて燃える | 高圧のお湯がでない | 処置方法 | 参照ページ |
|-----------------|-------|-------|--------|--------|-------------|-----------|-------------------------|-------|
| | 点火しない | 消火しない | 着火しない | 消火しやすい | | | | |
| ガス元栓の開け忘れ・開き不十分 | ○ | ○ | ○ | | | ○ | 消火ボタンを押してから、ガス元栓を全開にする | 10 |
| ガス配管内に空気が残っている | ○ | | | | | | 「使用手順(点火)」を参照 | 10・11 |
| ガス圧が適切でない | ○ | ○ | ○ | | | ○ | 点検・修理を依頼する | - |
| 給水元栓の開け忘れ・開き不十分 | | | ○ | ○ | | | 給湯栓をいったん閉じてから給水元栓を全開にする | 10 |
| 水圧が適切でない | | | ○ | ○ | | | 点検・修理を依頼する | - |
| 給水配管の容量不足 | | | ○ | ○ | | | | |
| 断水している | | | ○ | ○ | | | 通水するまで使用を中止する | 13 |
| 凍結している | | | ○ | | | | 解凍するまで使用を中止する | 14 |
| 点火操作が適切でない | ○ | | | | | | 「使用手順(点火)」を参照 | 11 |
| 給湯栓の開き不足 | | | ○ | ○ | | | 「使用手順(給湯)」を参照 | 12 |
| 点火装置の故障 | ○ | | | | | | 点検・修理を依頼する | - |
| 湯温・湯量調節が適切でない | | | | | | ○ | 「使用手順(湯温(湯量)調節)」を参照 | 13 |
| パイロットノズルのつまり | ○ | ○ | ○ | | | | | |
| 熱交換器の目づまり | | | | | | ○ | | |
| バーナの炎口づまり | | | ○ | | | ○ | | |
| 器具の銘板と使用ガスが不一致 | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | |

処置や原因がわからないときは、ただちにお買い求めの販売店、または大阪ガス支社、サービスショップにご連絡ください。

安全装置の種類とその働き

●ご使用中に自動的にバーナが消火してしまったときは、次の方法および16ページ「故障・異常の見分け方と処置方法」により処置してください。

●立消え安全装置

パイロットバーナの炎が風などで吹き消えたときは、安全装置が働いて自動的にガスが止まりますが、完全に止まるまで若干の時間がかりますので、パイロットバーナの消火に気づいたときは、すぐ消火ボタンを押し、給湯栓を閉じてください。

再度点火するときは、すぐ点火せず、しばらく待って周囲に生ガスの臭いがなくなってから点火してください。

●過熱防止装置

ご使用中に異常が起き、器体内部の温度が異常高温になると、安全装置が作動してガスを止め、点火しなくなります。この場合ガス元栓を閉じ、もよりの大阪ガス支社、サービスショップまでご連絡ください。

使用時のご注意

●最低作動水圧について

ガス瞬間湯沸器は、水圧によってガス弁が開き、メインバーナに着火します。水圧が作動水圧以下になったときには、メインバーナに着火しませんので、故障とお間違いのないようにご注意ください。

●同時給湯について

2箇所以上で同時にお湯を使用するとき、給湯配管の方法、給湯栓の開き具合によって、それぞれの給湯栓のお湯の量が異なることがあります。

特に湯沸器から遠い場所、高い位置の給湯栓ではお湯の出ない場合もありますので、設備業者と十分相談のうえ設置してください。

またシャワー等をご使用中、他の給湯栓を使用しますと、湯量や湯温が変動いたしますので、ご注意ください。

●お湯の白濁について

出湯直後にお湯が白く濁って見え、しばらくすると透明になることがあります。これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい気泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違い、全く無害なものです。

●水抜き栓兼安全弁(過圧逃し弁)から水滴が落ちるとき

器体内に高い圧が生じた場合、安全弁の働きにより、水抜き栓から水滴が落ちることがありますが、別に異常ではありません。

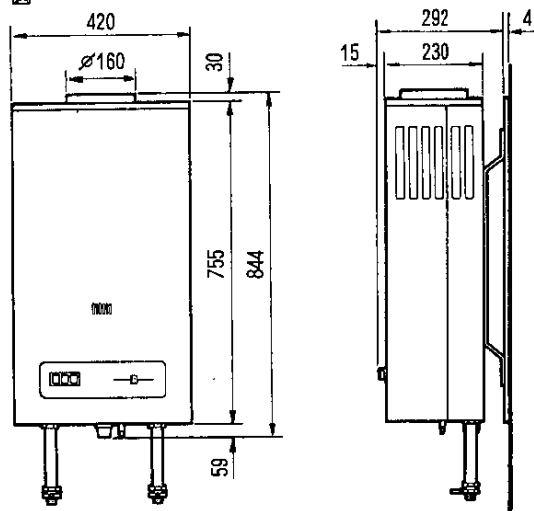
(水滴が落ち、床がぬれて困るようなときは、ビニールホースで支障のない所へ排水できるようにしてください。)

●飲用にお使いのときは

器体内に長時間たまっていた水は飲用または調理に用いないで、雑用水としてご使用ください。

寸法図と仕様一覧表

寸法図



仕様一覧表

| 項目 | 種別 (4)33-672 (u) | | | 種別 (N)33-672 (u) | | |
|-----------------|---|------|-----|---|------|-----|
| | 都市ガス6C | | | 都市ガス13A | | |
| 毎時ガス消費量(最大時) | 30600Kcal/h | | | 30600Kcal/h | | |
| 出湯能力 上昇温度 (最大時) | 25℃ | 40℃ | 55℃ | 25℃ | 40℃ | 55℃ |
| 出湯量 (ℓ/min) | (16.0) | 10.0 | 7.2 | (16.0) | 10.0 | 7.2 |
| 型式 | PH-161M | | | | | |
| 種類 | 給湯方式 | | | 先止め式 | | |
| | 給排気方式 | | | 自然排気式 | | |
| 点火方式 | 圧電点火式 | | | | | |
| 最低作動水圧 | 低温: 0.35kg/cm ² 、高温: 0.2kg/cm ² | | | | | |
| 外形寸法 (本体) | 高さ844×総420×奥行292mm | | | | | |
| 重量 | 23kg | | | | | |
| 接続 | 給水 | | | R ³ / ₄ (20A) | | |
| | 給湯 | | | R ³ / ₄ (20A) | | |
| | ガス | | | ³ / ₄ (20A) ¹ / ₂ (15A) | | |
| 安全装置 | 立消え安全装置・過熱防止装置・水抜き栓兼安全弁 | | | | | |
| 付属部品 | 防熱板・ビニールホース・木ねじ・逆止弁ニツプル | | | | | |

*出湯量の()内数字は、水とミキシング時の出湯量を示します。

長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は、必ずガス元栓・給水元栓を閉め、水抜きを行ってください。詳しくは15ページをお読みください。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 16ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスサービスショッップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

なお、ご連絡いただくときは、次のことをご知らせください。

- (1) 品名……(ガス瞬間湯沸器)
- (2) 品番……右側面に張ってあります。(例)
- (3) 現象……(できるだけ詳しく)
- (4) 道順……(できるだけ詳しく)

(4) 33 6/2 (U)

大阪ガス株式会社 (06)

転居される場合

- ガスには都市ガス13種類およびLPガスの区分があります。ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、大阪ガスサービスショッップまたは大阪ガス支社にご相談ください。この場合調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料修理となります。

保証書について

- この器具には保証書がついています。このガス瞬間湯沸器は保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

補修用性能部品の最低保有期間について

- ①無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。
 - ②補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後7年です。その後の修理は、補修用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。
- ※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

本製品と快適なくらしのために



みんなで楽しく入浴しましょう！
スポーツ、行楽、仕事の後には楽しく入浴を。
1日の疲れや汗を流して、体も心もさっぱり！